

## 保険でよい歯科医療の実現を求める意見書

歯や口腔の機能が全身の健康、介護、療養上の改善に大きな役割を果たすことが厚生労働省の厚生労働科学研究所等で実証されている。その結果として医療費を抑制する効果があることが兵庫県歯科医師会等で実証されている。

しかしながら、公的医療費の抑制により患者の自己負担が増大し保険で歯科診療を受けにくくなっている。

また、実質的に医療内容を左右する診療報酬は過去3回続けて引き下げられ、そのうえ歯科では現在普通に行われている、金属床の入れ歯、セラミックを用いたメタルボンド、レーザー治療などは保険に取り入れられていない。

よって、政府においては、医療費の総枠を拡大し、患者負担を増加させることなく、保険でよい歯科医療を確保するため、下記事項の実現について強く要望する。

### 記

- 1 患者負担を軽減すること。
- 2 良質な歯科医療ができるように診療報酬を改善すること
- 3 安全で普及している歯科技術を保険診療に含めるようにすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2007年（平成19年）12月19日

高 砂 市 議 会